



CIVIL ENGINEERING  
EXHIBITION

DOBOKU COLLECTION 2022

帰ってきた!  
3年ぶりのドボコレ

# 土木コレクション2022

## HANDS+EYES

2022.11.22[火]—25[金] 8:00—21:00 22日(火) 13:00—21:00  
25日(金) 8:00—17:00

新宿駅西口広場イベントコーナー (JR新宿駅西口)



主催/(公社)土木学会 共催/東京都建設局 同時開催/東京 橋と土木展 (主催:東京都建設局) 協賛/(一社)日本建設業連合会、(一社)建設コンサルタンツ協会、(一社)セメント協会、電気事業連合会、(一社)日本橋梁建設協会、(一社)日本鉄道施設協会、(一社)日本道路建設業協会、(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会、(一社)日本埋立浚渫協会、(公社)全国上下水道コンサルタント協会、(一社)関東地域づくり協会 後援/厚生労働省、国土交通省、総務省 問合せ/公益社団法人 土木学会 土木広報センター TEL:03-3355-3448(9:00-17:00)

帰ってきた!  
3年ぶりのドボコレ

CIVIL ENGINEERING  
EXHIBITION

新宿駅西口広場に「ドボコレ」が帰ってきました!今年の「土木コレクション2022」では3年の充電期間を経て、河川から道路、鉄道まで、多岐にわたる魅力的なコンテンツを公開します。

1つ目が「流域治水」の展示です。豪雨災害の激甚化で水害対策は待ったなし。河川の中だけでなく、流れ込むまでの流域とあふれた場合の氾濫域をも含めた総動員の治水対策やプロジェクトについて、図面や写真などで詳しく解説しています。これまで培ってきた川の施策を土台にどのような治水を展開しようとしているのか、感じ取っていただければ幸いです。

2つ目が首都圏の移動に欠かせない公共交通機関の事業展示です。2022年は鉄道開業150年、国鉄分割民営化から35年、首都高速道路開通60周年という節目の年です。鉄道や高速道路、地下鉄は市民の輸送手段として確立しただけでなく、沿線における生活圈、文化圏の形成に寄与してきました。これまでの建設事業について貴重な映像や図面、写真などで紹介します。

土木コレクションとは土木界が保有する歴史資料、図面、写真など普段目にする事ができない各種コレクションを展示公

開するものです。2008年からプロジェクトが始まり、今に至ります。

土木コレクションの展示内容を一言で表すならば、「HANDS + EYES」です。明治期から昭和初期の土木エンジニアが高い志、熱意、プライドを持って国土づくりに取り組んできたことを、美しく繊細な手書き図面をベースに伝える展示を「HANDS」と呼んでいます。当時の土木技術の大胆かつ優れた構想力とともに、先人たちの熱い思いが伝わってきます。

また、近年の土木エンジニアが様々な社会要請に応じて、新しいコンセプトのプロジェクトを生み出してきたことを、魅力的な写真をベースに伝える展示を「EYES」と呼んでいます。現在の土木技術の繊細なデザインやこれまでになかった発想力が垣間見え、新しい土木の方向性を示してくれます。

それ以外にも、当時の建設現場などを撮影した動画も好評なコンテンツになっています。今年も貴重な映像を用意しました。土木コレクション2022を通して、土木の奥深さ、面白さを堪能していただければ幸いです。

## ZONE 1 流域治水

豪雨災害が激甚化し、国土交通省は水害対策を大きく転換する「流域治水」を2020年に打ち出しました。川に流れ込むまでの「流域」やあふれた場合の「氾濫域」での対策を含めて対策を行う画期的な取り組みです。なぜ「流域治水」のような治水思想を掲げるに至ったのでしょうか。単に雨が強くなったというだけでなく、これまでの治水の歴史も大きく関わっています。流域治水の解説だけでなく、私たちがどのように川と付き合ってきたかを振り返り、代表的なプロジェクトを交えて紹介します。



## ZONE 2 公共交通機関

【鉄道】2022年は1972年(明治5年)に日本で最初の鉄道が新橋-横浜間で開業して150年の節目を迎えるとともに、国鉄分割民営化から35年となる節目の年です。文明開化の象徴として走り始めた鉄道は日本の経済社会の発展を支える存在となりました。東北新幹線建設や東京駅改良のような過去の大規模工事から、渋谷駅改良などの近年におけるビッグプロジェクト、2022年2月に発生した福島県沖地震からの復旧などの映像を通じて、鉄道駅、橋りょう・高架橋の建設技術の歴史を感じてください。



【道路】1962年12月20日、京橋-芝浦間の4.5kmで初めて首都高が開通してから今年で60年を迎えます。総延長327.2kmまでネットワークが広がり、首都圏の暮らしや社会経済活動を支えるインフラとして、一日約100万台の車が利用しています。初めて首都高が開通した際の貴重な工事映像から歴史を感じていただくとともに、これからも首都高が社会に貢献し続けていくための様々な取り組みについてもご覧ください。



## ZONE 3 東京 橋と土木展

東京都建設局では、東京に架かる橋を通じて土木の意義や魅力を都民の皆様を知っていただくことを目的に、「東京 橋と土木展」を同時開催いたします。2011年の「東京の橋/パネル展」から通算10回目となる今回は、夜の隅田川を美しく彩る橋梁ライトアップのほか、河川施設や公園施設を加えた展示をいたします。これらを通じて、土木の魅力を体感していただければ幸いです。



ドボコレミュージアム  
DOBOKU COLLECTION  
MUSEUM

こちらもお楽しみください!

土木コレクションミュージアム(ドボコレミュージアム)では、土木コレクションで展示する貴重な写真や図面、歴史資料の数々をWeb空間上にバーチャルで展示・公開しています。これまでのコンテンツを全て見る事ができます。 <https://www.jsce-dcm.com/>



# 土木コレクション2022

2022.11.22 [火] - 25 [金] 8:00-21:00

22日(火) 13:00-21:00、25日(金) 8:00-17:00

新宿駅西口広場イベントコーナー (JR新宿駅西口)

